

令和元年(2019年) 8月19日
都市計画部公有地利活用推進課

学校跡地の利活用について

菅間小学校について

1 物件概要

(1) 敷地情報

所在地：つくば市中菅間 877 番地 敷地面積：8,762 m²
 区域区分：市街化調整区域 建蔽率／容積率：60％／200％
 上水道：井戸水利用 下水道：市下水道
 アクセス：土浦北 IC から約 17km、TX つくば駅から約 15km
 道路：(北東側) 県道 214 号線 (東側) 市道 1-5191 号線
 (南側) 市道 1-5189 号線

(2) 主要建物

施設名	教室棟	教室棟Ⅱ	屋内運動場
竣工年	昭和 46 年	昭和 55 年	昭和 57 年
構造	鉄筋コンクリート造		鉄骨造
階数	地上 2 階	地上 3 階	地上 2 階
延床面積	825 m ²	751 m ²	657 m ²
耐震性能	Is 値 0.65	Is 値 0.82	新耐震

※Is 値 \geq 0.6 とは「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」

2 経過

平成 30 年 12 月にジャパンイノベーションチャレンジ実行委員会から廃校を活用した「障がい者生活支援ロボットコンテスト事業拠点」について打診があり、視察を行った結果、同実行委員会から市へ菅間小学校利活用について打診があったため、利活用に向けた協議を進めている。

令和元年 5 月 31 日 菅間小学校跡地利活用に関する区長説明会(事業者同席)

令和元年 7 月 2 日 公有地利活用方策検討会

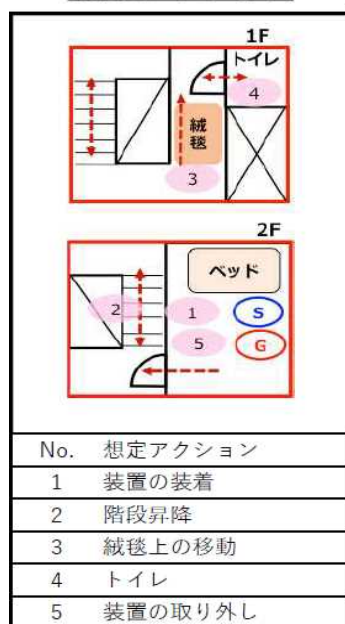
令和元年 7 月 12、13 日 菅間小学校跡地利活用に関する地元説明会(事業者同席)

3 利活用の事業概要

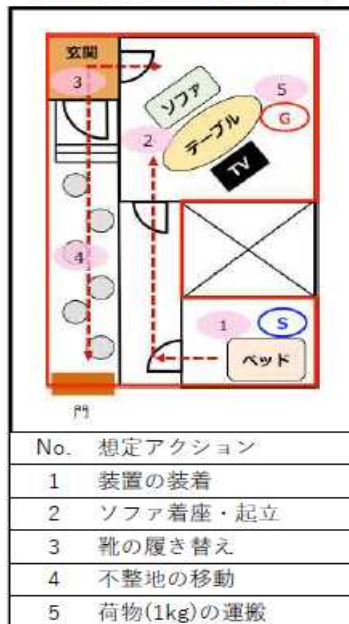
障がい者生活支援ロボット等の技術開発、製品化の加速、イノベーション機会の創造を目的に、体育館内に住居を想定したコンテスト施設を設置し、日常生活における起床から就寝までの様々な課題等(例:「宅配便の受取」、「入浴」、「夜中のトイレ」)を設定し、介護者の支援がなくとも自立した生活を送るための生活支援ロボット等の実現に向けたコンテストを開催する。課題達成チームには、賞金(総額 1 億円/10 年

を予定) を付与する。

1.夜中のトイレ



2.宅配便の受け取り



・実行委員会のこれまでの取り組み

「山の遭難救助」：【後援】内閣府、国土交通省、経済産業省
 会場 北海道上士幌町 町有林
 参加規模 80名～140名/年

仮想や模擬空間ではなく、実際の現場でコンテストを実施することにより技術開発、製品化の加速を目指している。

4 市と利活用事業者が協議した事項

- ・指定避難所利用への協力
- ・選挙当日投票所利用への協力
- ・消防団詰所設置について
- ・地域利用への協力について
- ・つくば市開発審査会の承認が必要

全事項について、利活用事業者から概ねの了解を得ている。

5 活用事業に関する主な意見

(1) 区長説明会における意見

- ・県道 214 号線は筑波山観光客で混雑する時期があるため、開催時期について注意が必要。
- ・市で跡地利活用方針を決定し、地元の説明してくれれば問題ない。
- ・コンテスト以外の時期は使用するのか。

→参加チームの練習場として使用する。年間 60 日程を想定。また地元向けの技術公開日等を実施したい。

(2) 地元説明会における意見

- ・利活用事業はいいものだと思う。敷地をきれいに管理してほしい。
- ・校庭は公園のように開放してもらいたい。
- ・バス通学生のバス利用の時間帯は使用を控えてほしい。
- ・これまでの取組事業での後援実績は。
→内閣府、経済産業省及び国土交通省から後援実績がある。またドコモや JTB から協賛いただいた。本件は、厚生労働省と経済産業省に依頼予定。
- ・避難所としての機能は残してもらいたい。
- ・利活用方策が決まった際は、広く地域に周知してほしい。
- ・学校開放事業が出来なくなる。代替地を検討してほしい。

(3) 公有地利活用方策検討会の意見

- ・科学技術都市として、発展が見込める分野の新しい福祉産業ロボットの技術開発拠点として、学校跡地が使われることはいいことだと思う。
- ・雑草や樹木が繁茂しており、敷地の維持管理をどこまでやるのか。地元と友好関係が築けるのか。コンテストが 10 年間続くのかといった不安がある。
- ・実行組織に協賛する企業体がどのようなものか、しっかりと確認してほしい。

6 菅間小学校の利活用

- (1) 障がい者生活支援ロボットコンテスト事業拠点
- (2) 消防団詰所

7 今後の予定

9 月下旬 つくば市開発審査会

12 月中 利活用事業者との土地建物賃貸借契約

<事業者>

令和元年(2019年)10月以降 会場設置工事

令和2年(2020年)9月頃 第1回コンテスト開催

山口小学校について

1 物件概要

(1) 敷地情報

所在地：つくば市山口 913 番地 敷地面積：5,727 m²
区域区分：市街化調整区域(11 号第 1 指定区域)
建蔽率／容積率：60％／200％
上水道：市水道 下水道：市下水道
アクセス：土浦北 IC から約 13km、TX つくば駅から約 14km
道路：(東側)市道 1-11 号線 (南側)市道 1-11 号線
(西側)市道 1-2617 号線

(2) 主要建物

施設名	教室棟	屋内運動場
竣工年	昭和 54 年	昭和 62 年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造
階数	地上 3 階	地上 2 階
延床面積	1,703 m ²	564 m ²
耐震性能	Is 値 0.57	新耐震

※Is 値 \geq 0.6 とは「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」

2 経過

平成 30 年 2 月に一般財団法人 21 世紀教育会から、廃校（旧山口小学校）活用して、教職員の資質向上に関する講習会・研修会を実施したい旨の要望書が提出された。

地元区会である山口、平沢の 2 区会と市が覚書を締結し、平成 28 年から地域交流の場として利用しており、校舎の 2 者による利活用に向けた協議を進めている。

平成 31 年 1 月 30 日 山口小学校跡地利活用に関する区長説明会(事業者同席)
令和元年 5 月 29 日 山口小学校跡地利活用に関する地元説明会(事業者同席)
令和元年 7 月 2 日 公有地利活用方策検討会

3 利活用の事業概要

21 世紀社会に貢献できる広い視野を持ったグローバルな人材育成及び各世代の能力開発に寄与すること

- 教職員の資質向上に関するセミナー・研修会・講習会の開催
 - ・セミナー・・・体育館 参加者 100～150 名
 - ・学校・教員支援研修会・・・2 階教室 参加者 30～50 名程度
 - ・管理職養成講習会・・・2 階教室 参加者 30～50 名程度
- 児童生徒を対象とした学習活動

- ・学習活動・・・2階教室
- ・スポーツ活動・・・体育館及びグラウンド

4 市と利活用事業者が協議した事項

- ・地域利用への協力について
- ・施設の維持管理等について、区会に協力すること
- ・指定避難所利用への協力について
- ・耐震基準に満たない施設であることを了承のうえ、使用すること

全事項について、利活用事業者から概ねの了解を得ている。

5 活用事業に関する意見

(1) 区長説明会における意見

- ・地域で利用していない空き教室を利用してもらい、地域による利用が継続出来るなら問題ない。
- ・草刈等、施設の維持管理に協力してもらいたい。

(2) 地元説明会における意見

- ・地域による利用と重ならないようにしてほしい。
→利用されていない教室を利用する。また重なる場合は調整したい。
- ・参加者の車の往来には、注意してほしい。
- ・地域や子供たちとの交流は、どう考えているか。
→読み聞かせやスポーツマナーキッズの講座など、また生涯学習として健康教室なども考えたい。

(3) 公有地利活用方策検討会の意見

- ・小学校の入口や周辺の道路が狭いため、車で来校する場合は乗り合わせをお願いしたい。
- ・既に区会が利活用していることから、(一財)21世紀教育会の利用にあたっては鍵の管理等について、覚書等の締結が必要。

6 今後の予定

課題や貸出基準等を整理したうえで検討・調整する予定